

今回のアンケート項目（案）について

資料 5 - 2

I. 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、町民の男女共同参画に関する意識や実態を把握することによって、広陵町男女共同参画行動計画策定のための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査設計

(1) 調査対象

広陵町内に在住する満 18 歳以上の方々 2,500 名(無作為抽出)

(2) 調査期間

令和 4 年 8 月 10 日～9 月 2 日(予定)

(3) 調査方法

郵送調査(郵送配布・郵送回収)

3. 調査項目設定の考え方

- 前回調査の結果と比較して、住民意識の経年的変化を把握する。
- 全国や奈良県全体の調査結果と比較する。
- 現行計画における施策の取り組み状況を把握するために設定されている数値目標の達成状況を把握する。(下表参照。網掛けの項目は、指標項目であるため今回調査で設定が必要)
- 調査票へ回答することを通じて、男女共同参画にかかわる事柄や社会状況などの周知、啓発につなげる。
- 対象者の負担感を軽減して、回収率の向上を図るため、調査票のページ数は、前回調査 16 ページに対して、今回調査は 12 ページで設定する。
そのために、設問数を精査して、優先度の高い設問を絞り込む。

現行計画で設定している指標 ※網掛けは意識調査で取得する項目	現状値	目標値 (平成 34 年度)	前回調査 項目
ワーク・ライフ・バランスという言葉も意味も理解している人の割合	40.9%	70%以上	問28③
町男性職員の育児休業取得者数	0 人	2 人	
15 歳～64 歳の女性の就業率	55.9%	60%以上	
町女性職員の管理職割合	42.86%	50.00%	
審議会等の女性委員登用割合	18.90%	25.00%	
男性の家事関連時間(仕事のある日)	1 時間 24 分	3 時間以上	問 10
レインボーフラッグ設置数	0	10	
がん検診の受診方法を知らない人の割合	36.8% (平成 27 年度)	30% (平成 32 年度)	
相談機関や相談窓口で全く知らない人の割合	46.4%	20%未満	問 25

現行計画で設定している指標 ※網掛けは意識調査で取得する項目	現状値	目標値 (平成 34 年度)	前回調査 項目
DV 等の被害を受けた方の中で、「誰にも相談しなかった」人の割合	40.8%	20%未満	問 24-1
社会通念・慣習・しきたりなどの分野が男女平等であると考える人の割合	17.3%	25%以上	問 32⑦
社会全体で男女の地位が平等になっていると思う人の割合	12.2%	20%以上	問 31
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」と考えている人の割合	28.0%	20%未満	問 29
防災士の女性比率	8.3% (平成 29 年度)	20%	
地域における AED 講習会	－	41 区・自治会	
男女共同参画に関する職員研修参加者数	45 人 (平成 27 年度)	100 人	

II. 調査項目案

現時点で検討中の調査項目案の状況は以下の通りで、審議会の意見を勘案して、事務局において調査項目の精査を行う。

●前回踏襲 ◎前回項目を修正 ○比較可能な項目 △同じ趣旨の設問で選択肢が異なる

前回調査項目 ※網掛けは指標項目	今回項目案	国 R1 調査	県 R1 調査
問1 性別	●		
問2 年齢	●		
問3 居住している小学校区	●		
問4 お住いの年数	●		
問5 結婚(事実婚含む)	●		
問6 世帯構成	●		
問7 子どもの人数	◎		
問8 本人の仕事の有無	●		
問8-1 本人の雇用形態	●		
問9 配偶者またはパートナーは、収入を得る仕事をしているか	●		
問9-1 配偶者またはパートナーの雇用形態	●		
問 10 日頃の生活のなかで各活動に費やしている時間	◎		
<問8で「2. 仕事をしていない」と回答した人> 問 11 仕事をしていない理由	●		

前回調査項目 ※網掛けは指標項目	今回項目案	国 R1 調査	県 R1 調査
<問8で「2. 仕事をしていない」と回答した人>問12 今後収入を得る仕事に就きたいか	●		△
<問12で「1. ぜひ仕事に就きたい」「2. できれば仕事に就きたい」と回答した人>問13 仕事に就く上での問題	●		
問14 これまでに収入を得る仕事に就いたことがあるか	X		
<問14で「1. ある」と答えた人>問15 あなたの職場(かつて働いていた職場を含む)には育児休業制度があるか(あったか)	X		
<問15で「1. ある(あった)」と回答した人>問15-1 育児休業を取得したか。今後取得する予定はあるか	X		
<問15-1で「1. 取得した」と回答した人>問15-2 直近で取得した育児休業の期間	X		
<問15-1で「3. 取得したことがない」「4. 取得する予定はない」と回答した人>問15-3 取得しなかった理由	X		
<問14で「1. ある」と答えた人>問16 あなたの職場(かつて働いていた職場を含む)には介護休業制度があるか	X		
<問16で「1. ある(あった)」と回答した人>問16-1 介護休業を取得したか。今後取得する予定はあるか	X		
<問16-1で「3. 取得したことがない」「4. 取得する予定はない」と回答した人>問16-2 取得しなかった理由	X		
<問8で「1. 仕事をしている」と回答した人>問17 男性が育児休業を取得しやすい職場環境か	●		
<問8で「1. 仕事をしている」と回答した人>問18 男性が介護休業を取得しやすい職場環境か	●		
<※配偶者やパートナーがおられる方。問5で「2. 結婚している」と回答した人>問19 家庭における夫婦またはパートナー間の役割分担の現実	◎ 別案		△
問19-1 家庭における夫婦またはパートナー間の役割分担の理想	◎ 別案		△
問20 現在の生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活(学習・趣味・付き合い等)」の優先の現実	●	○	○

前回調査項目 ※網掛けは指標項目	今回項目案	国 R1 調査	県 R1 調査
問 31 社会全体における男女の地位の平等感	●	○	
問 32 各分野における男女の地位の平等感			
①家庭生活を	●	○	○
②職場	●	○	○
③学校教育の場	●	○	○
④政治の場	●	○	○
⑤地域活動の場	●	○	○
⑥法律や制度上	●	○	○
⑦社会通念・習慣・しきたり等	●	○	○
問 33 日本社会における男女不平等が生じる原因			
問 34 男性が育児休業を取得することに対する意識			
問 35 男性が介護休業を取得することに対する意識			
問 36 女性が仕事を持つことに対する意識	●	△	△
問 37 女性が仕事を続けるために必要だと思うこと	●		
問 38 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)のために、職場の環境や制度で必要だと思うこと	◎ 選択肢を精査		△
問 39 どのような形で女性の活躍が進むのがよいと思うか			
問 40 意思決定を行う立場の女性が少ない理由			
問 41 男性が子育て、介護に積極的に参加していくために必要だと思うこと	◎ 選択肢を精査	△	
<男性>問 42 「男もつらい」と感じることはあるか	◎ 別案		
<問 42 で「1. ある」と回答した人>問 42-1 「男もつらい」と感じる内容	◎ 別案		
問 43 防災・災害復興活動において性別に配慮した対応で必要なこと	◎ 別案		
問 44 「男女共同参画社会」を実現するために、行政が力を入れていくべきこと	◎ 選択肢を精査	△	△

問 19、問 19-1 別案

【変更意図】夫婦・パートナーに限らず家庭内の役割分担における性別の違いを明らかにする。結婚している人だけを対象にするのではなく全員が回答できる聞き方にする事で、両親と同居する独身の子などの場合も回答が可能になる。

問 家庭におけるさまざまな役割について、おたずねします。あなたの家庭では以下のことからをどのように分担していますか。

問 家庭におけるさまざまな役割について、おたずねします。あなたは以下のことからをどのように分担するのが良いと思いますか。

	主に男性が担う	男性が担う どちらかといえば	男女が同じ程度	女性が担う どちらかといえば	主に女性が担う
	(○はそれぞれ1つ)				
①生活費の確保	1	2	3	4	5
②洗濯	1	2	3	4	5
(以下省略)	1	2	3	4	5

22 別案【DV、デートDVの認識】

問 あなたは、次のようなことが配偶者・パートナーや恋人の間で行われた場合、暴力だと思えますか。

(○はそれぞれ1つ)

	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない
①なぐる、ける	1	2	3
②物を投げる	1	2	3
③何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
④大声でどなる	1	2	3
⑤「誰のおかげで生活できるんだ」「甲斐性なし」などの人格を否定するような言葉を言う	1	2	3
⑥なぐるふりをして、おどす	1	2	3
⑦刃物などを突きつけて、おどす	1	2	3
⑧いやがっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
⑨見たくないのにポルノビデオを見せる	1	2	3
⑩裸の写真を撮り、インターネットに流したりする	1	2	3
⑪生活費を渡さない	1	2	3
⑫交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	1	2	3

問 24 別案【ハラスメントを受けた経験】

問 あなたは、職場や学校、その他の活動の場で次のような不快と感じる行為を受けたことがありますか。(○はいくつでも)

1. 年齢や容姿のことで傷つくようなことを言われる
2. 「女(男)のくせに」「女(男)だから」と差別的な言い方をされる
3. 結婚や交際についてしつこく聞かれる
4. 体をさわられた・卑猥な話を聞かされる
5. 交際や性的行為を強要される
6. 権力や立場が強いことを利用して嫌がらせをされる(パワー・ハラスメント)
7. 妊娠・出産を理由に嫌がらせや不当な扱いを受ける(マタニティ・ハラスメント)
8. 男性が育児のための制度を利用することに対して嫌がらせや不当な扱いを受ける(パタニティ・ハラスメント)
9. しつこくつきまとわれる(ストーカー行為)
10. 上記のような経験はない

問 28【用語の案】

	内容まで 知っている	言葉を見たり聞いた りしたことはある	まったく知らない
(○はそれぞれ1つ)			
①男女共同参画社会	1	2	3
②女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約 (女子差別撤廃条約)	1	2	3
③男女共同参画社会基本法	1	2	3
④男女雇用機会均等法	1	2	3
⑤DV 防止法			
⑥女性活躍推進法	1	2	3
⑦候補者男女均等法	1	2	3
⑧ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)	1	2	3
⑨ポジティブ・アクション(積極的改善措置)	1	2	3
⑩ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	1	2	3
⑪リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と 権利)	1	2	3
⑫性的同意	1	2	3
⑬SDGs	1	2	3

問 42 別案【性別にもとづく生きづらさの有無】

問 あなたは、「女性であること」または「男性であること」によって、負担感や生きづらさを感じたことがありますか。(○は1つ)

1. ある	2. ない	3. わからない
-------	-------	----------

問 42-1 別案【性別にもとづく生きづらさの理由】

問 それは、どのようなときに感じましたか。(○はいくつでも)

1. なにかにつけ「男だから、女だから」「男のくせに、女のくせに」と言われる 2. 自分のやりたい仕事を自由に選べないことがある 3. 仕事と家事・育児・介護を両立する負担が大きい 4. 「妻子を養うのは男の責任だ」と言われる 5. 「男なのに酒が飲めないのか」「力が弱い」「運動が苦手だ」とバカにされたり、からかわれる 6. 仕事の責任が大きい、仕事ができたり前と言われる 7. 責任のある仕事を任せてもらえない、決定権のある役職に就けない 8. 家事、育児ができたり前と言われる 9. 女性はやさしくて、よく気がつき、従順であることを求められる 10. その他

問 43 別案【防災における男女共同参画のために必要なこと】

【変更意図】多様な住民への配慮を行う必要があることは前提に、取り組むべきことをたずねる。

問 災害時において、性別や年齢などによる違いや多様性に配慮した災害対応をしていくためには、日頃からどのようなことを行っていく必要があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 防災に関する会議の女性委員の割合を増やす
2. 男女共同参画の視点を取り入れた防災の研修・講座の実施
3. 性別にかかわらず多様な人が多く参加する防災訓練の実施
4. 男女共同参画の視点を取り入れた啓発冊子やマニュアルの作成・配布
5. 地域で防災活動に参画する女性リーダーの養成
6. 日頃から性別にかかわらず多様な人が協力して地域のことを進める
7. その他
8. 特に必要なことはない

その他の新設設問案

【性的マイノリティにとって生活しづらい社会だと思うか】

問 LGBTをはじめとする性的マイノリティにとって、現状は生活しづらい社会だと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

【性的マイノリティにとって生活しづらい社会である理由】

問 どのようなことが生活しづらい社会にしていると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 家族、友人など周囲の人に相談できない
2. カミングアウト後、周囲の理解が得られない・態度が変化する
3. いじめ(悪口・嫌がらせなど)を受ける
4. 住居選択において偏見・差別がある
5. 医療の場において偏見・差別がある
6. 就職・就業において偏見・差別がある
7. 福利厚生において偏見・差別がある
8. 自認する性と異なるふるまいや服装などを強要される
9. 自認する性として利用できる施設・設備が少ない(トイレ・更衣室など)
10. 夫婦と同様に、同性パートナーとの関係を認めてもらえない
11. 性的マイノリティの権利を守るための法整備が進んでいない
12. 行政機関などの相談・支援体制が不十分である
13. 性別の記入を求められる書類が多い
14. その他

【男女共同参画の進展状況】

問 この10年間で、あなたの周囲の状況から判断して次の①～⑦がどの程度進んだと思いますか。

	前進した	どちらかといえば前進した	変わらない	どちらかといえば後退した	後退した	わからない
(○は①～⑦それぞれに1つ)						
①男女平等の考え方	1	2	3	4	5	6
②職場における女性の活躍	1	2	3	4	5	6
③地域活動における女性の活躍	1	2	3	4	5	6
④仕事と家庭・子育てなどの両立のしやすさ	1	2	3	4	5	6
⑤男性の子育て、介護への参加	1	2	3	4	5	6
⑥DVなど女性に対する暴力をなくすための取り組み	1	2	3	4	5	6
⑦行政などの相談窓口の充実	1	2	3	4	5	6

審議会の時間のみでアンケートに関する議論はできないと思いますので、お手数ですが、アンケートについて意見のある方は、Eメール、FAX等でご連絡いただきますようお願いいたします。

(できれば書面で残したいと考えていますので、電話での回答はお控えください。)

○回答期限 7月6日(水)

○回答様式 任意です。Eメールに文章ベタ打ちでもかまいません。

○連絡先 協働のまちづくり推進課 植村・木下

TEL 0745-55-1001 (内線1366)

FAX 0745-55-1009

Eメール kyodo@town.nara-koryo.lg.jp

○その他 皆さまからいただいた意見を反映し、7月中旬に書面でアンケート案を送付し、ご確認いただきます。